大内社協だより

第100号
令和８年11月１日
発行／大内地区社会福祉協議会
☎083－927－7712
編集／広　報　委　員　会
印刷／㈱ 桜 プ リ ン ト 社
☎083－941－1600

新しい福祉員です　よろしくお願いします。



大内地区福祉員協議会
会長　松永 正実

今年４月の福祉員の一斉改選により、各自治会・町内会から推薦された39名が、山口市社会福祉協議会・大内地区社会福祉協議会から新たに福祉員の委嘱を受けました。

任期は、令和１１年３月迄の３年間となりますが、民生委員・児童委員さんをはじめ、社会福祉協議会・地域包括支援センター・自治会等の皆さんと連携・協力しながら、「高齢者の方の見守り活動」「一人暮らしの高齢者の方への弁当配食やふれあい会の実施」「いきいきサロンの運営支援」等のボランティア活動を行って参ります。

近年、高齢化・長寿化が進行する中で、気候変動による集中豪雨や台風また地震等の自然災害が頻発する恐れが増大している一方、特殊詐欺や悪質商法等の犯罪が横行するなど、高齢者を取り巻く生活環境は、一層不安なものとなっています。



こうした状況も踏まえ、少しでも関係者の皆さんのお手助けが出来るよう努めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【福祉員の紹介】

担当地区	氏　名
大内畑・菅内	石田節子
菅内台	福永光子
菅内団地	中原昭二郎
小野	吉冨美津恵
	藤勝節子
問田	杉本香織
	古屋忠之
小京都	田頭知香
	手嶋一三
姫山台	伊藤伸子
姫山団地	河村芳乃
下千坊	中川廣子
	下川正孝

担当地区	氏　名
上千坊	山崎　積
中村	熊谷洋子
	藤原里香
下矢田	田中克子
中矢田	岡村信子
	川添文雄
新矢田	雑賀知恵
高芝	松永正実
	石村初美
茅野神田	市川瑞江
	東福淑恵
上矢田	島田亮介
	竹重光子

担当地区	氏　名
長野	江藤達夫
長野ＧＴ	平野愛子
宮ノ馬場	窪田　緑
大道	久保田直美
殿河内	倉重亜希
	吉田宏史
金成団地	原　浩子
氷上	中野邦夫
	谷口美智子
御堀	梅地容子
	松永由里絵
御堀団地	永松美智子
宮島町	加藤ミチヨ

表彰　受賞、おめでとうございます！



山口県 令和８年10月27日㈫
山口市 令和８年10月19日㈰
それぞれ贈呈式が行われました。

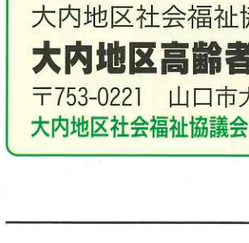
【山口県社会福祉協議会会長表彰　３名】
※社会福祉事業関係共助者　山崎　積　様
梅地容子　様
加藤ミチヨ　様

【山口市社会福祉協議会会長表彰　１名】
※ボランティアの部　島田令子　様

「赤い羽根共同募金」「歳末助け合い募金」へのご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金：令和８年10月１日～令和９年３月31日
歳末助け合い募金：令和８年12月１日～　12月31日

お年寄りや障がい者、子どもたちを支える福祉活動やボランティア活動に役立てられます。また、新年を誰もが安心して迎えられるために使われます。



街頭募金の様子
ゆめタウン山口店西門

「赤い羽根募金」は、「共同募金」の愛称です。 1948年頃にアメリカで水鳥の羽根を赤く染めて使っていたのにヒントを得て、日本では、不要になった鶏の羽根を使うようになりました。 赤い羽根は、運動が始まった頃は、寄付をしたことを表す印として使われ、現在は共同募金のシンボルとして、幅広く使われています。

「フレイル予防教室」（後期）募集!!

お申込みは、「高齢者生きがいセンター」（大内地区社協）へ　受付中

「ウォーキング教室」　令和８年11月19日㈬ 10時　大内地域交流センター
○交流センターから大内の館まで、「楽しく・自分のペース」で歩きます。

「介護予防について」　令和８年12月17日㈬ 10時　大内の館
○高齢者が要介護状態になることを防いだり、遅らせたりすることを学びます。

「栄養と薬について」　令和９年１月21日㈬ 10時　大内の館
○栄養や噛みやすさ（誤嚥予防）に配慮した食事のポイント等、専門家の方から学びます。

「バスの乗り方教室」　令和８年12月10日㈬ 10時　大内地域交流センター
○普段乗る機会の少ないバス乗車体験です。乗り方や運賃の支払い、福祉優待乗車証の使用について学びます。

『山口市地域住民グループ支援事業』詳細は山口市社会福協議会へ

「山口市地域住民グループ支援事業」は、これから活動を開始しようとする自主活動グループに対し、運営費の一部を補助するものです。（介護予防を目的とした体操を実施するグループ等）
※実施条件、補助には条件があります。

大内地区社会福祉協議会
大内地区高齢者生きがいセンター「大内の館」
〒753-0221　山口市大内矢田北５丁目８番28号　TEL 083－927－7712
大内地区社会福祉協議会は、「大内の館」内にあります。お気軽にお越しください。



この社協だよりは、赤い羽根共同募金を財源としています

「大内社協だより」１００号記念　特集
回顧録（社協アーカイブ）

今の社会福祉法人山口市社会福祉協議会は、平成１７年１０月３日（旧山口市・小郡町・秋穂町・阿知須町・徳地町）１市４町の合併により、発足しました。平成２２年２月２３日に阿東町が加わりました。大内地区社会福祉協議会の歴史は古く、昭和３９年５月６日に設立されました。



第10号「平成6年」発行



第36号「平成17年」発行



第45号「平成20年」発行



現在「令和8年」

平成６年には、大内地区老人介護教室を山口市平川にある「山口あかり園」で、施設見学やおむつ交換、洗髪の仕方など一日かけて研修されました。平成１３年には、「ふれあい型給食サービス事業」が開始され、一人暮らしの高齢者への食事が提供されるようになりました。平成２０年ごろからは、「大内地区いきいきサロン」の紹介で、１３地区が紹介されています。(現在20)その後も少しずつ増えていきました。平成２４年には、「児童クラブ」（うえき学級・みなみ学級・うえき第２学級・みなみ第３学級）の紹介もありました。その他、「災害時等地域支え合いマップづくり」も積極的行われるようになりました。平成２８年３月、山口市高齢福祉課により大内の館で「いきいき百歳体操」が始まりました。このようにその時の時代を反映した内容が記載されています。今後も継続して参ります。





北東地域包括支援センターと連携して、「フレイル予防教室（ウォーキング・介護予防・栄養と薬）」を実施しました。フレイルの３つの柱である「栄養（食・口腔）、身体活動(運動)、社会参加」を意識することで、今の生活を維持することを目指しています。





大内地区放課後児童クラブ（大内小学校区：うえき学級（３学級）、大内南小学校区：みなみ学級（３学級））では、約３００名の児童が通っています。保護者の就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、適切な遊びや生活を提供しています。そのために、職員である支援員が計画的に活動内容を考え、安心して保育できるよう配慮しています。生活は遊びを中心として行いますが、お楽しみ会や誕生会もあります。また、避難訓練（不審者・火事・地震）をしたり、長期休みには講師を呼んだりして、色々な体験を行っています。




福祉文化の醸成を図るために、学校と北東地域包括支援センターが連携し、福祉教育につながる「認知症」について学びました。劇化することでより理解を深めました。




「認知症サポーター養成講座」を毎年１回、大内の館で行っています。認知症について正しく理解し、偏見を持たずに本人や家族を温かく見守る応援者を育てる講座です。概ね９０分の受講で無料です。また、受講者にはサポーターカードとオレンジリングが交付されます。今回は個人だけでなく地域の事業者からの参加もありました。


いきいきサロン


敬老会


交通指導

「豊かな生活・楽しい生活がしたい。」しかし、ゴミ出しや草取りができない等、色々な悩みがあります。個人では解決できないことを身近な地域で支え合える関係を築けることが大切では！





大内地区内にも住民同士による支え合い活動が広まりつつあります。現在６地区において活動が進められています。活動内容や取組方法には違いはありますが、「支え合い」の温かい気持ちを享受できます。



平成２７年に発行された
社協だより
地域支え合いマップづくり

令和８年度
小地区見守り訪問活動研修会及び
山口市避難行動マイプラン研修会
日　時…令和８年８月３０日（日）
９：００～１１：００
会　場…大内地域交流センター（講堂他）
参加者…自治会長・町内会長
民生委員・福祉員・地区社協


山口市社会福祉協議会・北東地域包括支援センター・山口市からの説明を傾聴されている参加者

山口市社会福祉協議会からは、見守り訪問活動の現状と課題、見守り訪問活動の方法等について説明をいただきました。また、北東地域包括支援センターからは、高齢者が安心して暮せるに、センターの取組（相談窓口・介護予防・地域のネットワーク）について、山口市からは、避難マイプランの意義・マイプランの作成対象者・避難マイプランの作成について、具体的に説明をしていただきました。

自然災害等が発生した時、支援を要する方々がすぐに避難できるよう、慎重に避難経路等が検討されました。